

まもなく新時代「令和」の幕開け！ 1万3802人に聞いた、 「心に残る平成の音楽アーティスト」ランキング

全世代の圧倒的な支持を受けて、安室奈美恵が第1位に！

株式会社Gzブレイン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:堀 健一郎)は、「平成」という時代の終わりにあわせ、20~60代の男女を対象とした、「心に残る平成の音楽アーティスト」ランキングを発表します。

【「心に残る平成の音楽アーティスト」総合ランキング TOP20】

設問:あなたの心に残る「平成の音楽アーティスト」を1人、または1グループだけ教えてください。また、その理由やエピソードもあわせて教えてください。

順位	音楽アーティスト名	順位	音楽アーティスト名
1	安室奈美恵	11	いきものがかり
2	宇多田ヒカル	11	米津玄師
3	嵐	13	ZARD
4	サザンオールスターズ	14	桑田佳祐
5	SMAP	15	X JAPAN
6	中島みゆき	16	AKB48
7	Mr.Children	17	スピッツ
8	松任谷由実	18	L'Arc~en~Ciel
9	B'z	19	モーニング娘。
10	小田和正	20	ゆず

(単位:人 n=13802 集計期間:2019年3月18日~3月19日/出典:Gzブレイン)

●第1位は、男女世代を問わず幅広い人気を集めた「安室奈美恵」!

「平成」に代わる新たな元号が「令和」と発表され、「平成」の時代も残すところあとわずかとなりました。今回Gzブレインでは、新時代に向けた平成振り返り企画として、自社で運営するエンターテインメント分野の消費動向調査『eb-i(Entertainment Business Insight)』を使用し、20~60代の男女を対象に、「心に残る平成の音楽アーティスト」について調査を行いました。

総合ランキング首位は、世代別・性別のランキングすべてにおいて第1位を獲得! 圧倒的な人気を集めた平成を代表する音楽アーティスト、安室奈美恵です。

コメントには、「デビューから引退までトップであり続けた」(53歳・女性)、「平成が終わる前に引退したから」(28歳・男性)といった、2018年9月の引退が印象的だとする声が多く寄せられました。そのほか、「ファッションでも社会現象を起こした(47歳・女性)」、「自身もアムラーだった」(40歳・女性)といった、歌手としてだけではなくファッション・スタイルへの共感や、「リオデジャネイロオリンピックの時

に流れていたテーマ曲が印象深い”(45歳・男性)、“結婚式で使用した”(31歳・女性)など、楽曲が与える影響の大きさが伺えます。

そして総合2位には、主に30～40代男女からの票を集めた宇多田ヒカルがランクイン。理由には、“デビューが衝撃的だった”(47歳・男性)、“今までの日本の音楽とは違う楽曲に衝撃を受けた”(67歳・女性)など、「衝撃」という言葉を使用したコメントが目立ちました。当時15歳とは思えない歌唱力と作詞作曲力をあわせ持った少女のデビューに驚かされたファンが多かったようです。

総合3位は、世代を問わず、多くの女性から支持集めた嵐です。“日本を代表するアイドルグループだから”(23歳・女性)、“5人の個性や歌が世代問わず親しみやすい”(62歳・女性)、といったファンからのコメントの中にはやはり、2020年の活動休止を惜しむ声も多く見られました。

一方、総合4位のサザンオールスターズについては、40～60代男性からの得票が多く、“はじめて買ったレコードがサザンオールスターズだから”(51歳・男性)、“青春時代、毎日聞いていた。サザンなしには考えられない。”(45歳・男性)など、自身の思い出にからめたコメントが寄せられました。

みなさんも心に残る音楽アーティストの楽曲を聞きながら、終わりゆく「平成」に想いを馳せ、新たな気持ちで「令和」のスタートをきってみてはいかがでしょうか。

【「心に残る平成の音楽アーティスト」性別ランキングTOP5】

◆男性ランキングTOP5

順位	音楽アーティスト名
1	安室奈美恵
2	宇多田ヒカル
3	サザンオールスターズ
4	中島みゆき
5	Mr.Children

◆女性ランキングTOP5

順位	音楽アーティスト名
1	安室奈美恵
2	嵐
3	SMAP
4	宇多田ヒカル
5	サザンオールスターズ

(n=男性:7338、女性:6464 集計期間:2019年3月18日～3月19日/出典:Gzブレイン)

◇『eb-i』について



『eb-i(Entertainment Business Insight)』は、株式会社Gzブレインが週単位で継続して行っている、エンターテインメント分野の消費動向調査です。保有する国内20万人パネルから、全国47都道府県の5～69歳(14歳以下は保護者の代理回答)の男女約1万人のモニターを対象に、週次でWeb調査を実施し、エンターテインメント分野の実態を調査・分析しています。

URL: <http://www.f-ism.net/>

◆株式会社Gzブレイン(ジーズブレイン)について



株式会社Gzブレイン(代表取締役社長:堀 健一郎)は、株式会社KADOKAWAの100%子会社です。『ファミ通』『B's-LOG』ブランドをはじめとする情報誌の出版、Webメディアの運営といったゲームメディア事業を展開。さらに、プロゲーマーチームのマネジメントや、ゲームイベントの企画・プロデュースを中心としたeスポーツ事業など、あらゆる角度からゲームの面白さを伝える事業に取り組んでいます。

公式サイトURL: <http://gzbrain.jp>